

学力・学習状況の把握・分析し、改善を図る 全国学力・学習状況調査

©学校教育課 / ☎ 32-7213

はじめに

平成28年4月19日（火）、全国学力・学習状況調査が行われました。これは、全国の小学校6年生と中学校3年生の全員を対象とした調査で、学力や学習状況を把握・分析、教育政策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。その結果は公表することとなっています。

出題内容

① A問題
身に付けてなければ、後の学年等での学習内容の定着に影響を及ぼす内容や、実生活で不可欠であり、常に活用できることが望ましい知識・技能などが出題されます。

② B問題
知識・技能等を実生活に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などに関わる内容が出題されます。

調査結果の分析

① ほぼ全国と同じ傾向だが、全体的に上位層が少ない。小学校は下位層、中学校は中位層が多い。
※小学校は鹿児島県平均を若干下回っている。
※中学校は、鹿児島県平均を若干上回っている。
② 小学校には、下学年で習得すべき基礎的・基本的な知識や技能を十分に定着できていないものがある。
③ 図やグラフ等を読んだり、関係づけ、根拠を明確にし、考えをまとめて表現したりすることに課題が見られる。

学習状況調査結果

▼素晴らしい項目

① 今住んでいる地域の行事に参加している。
② 学校の授業以外に1日1時間以上勉強をしている。
③ 読書が好きである。

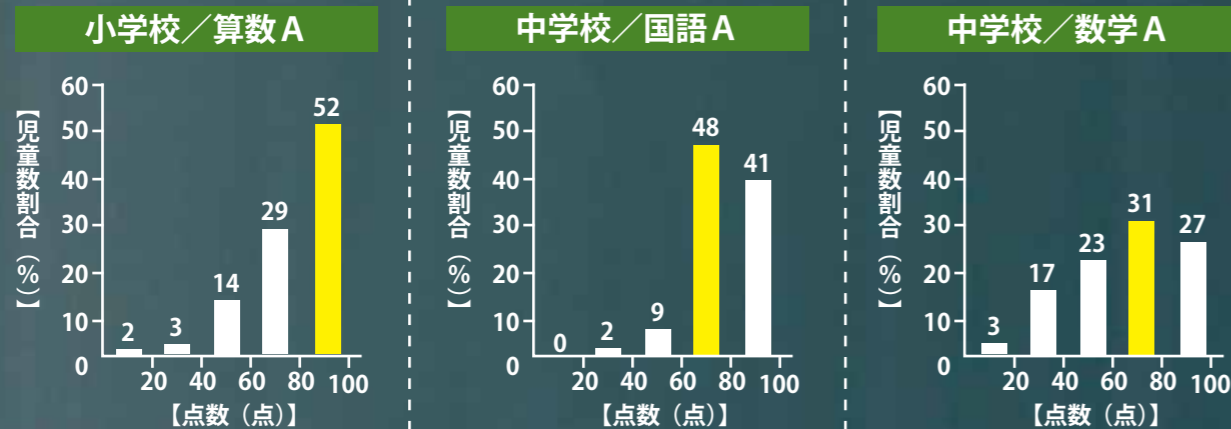
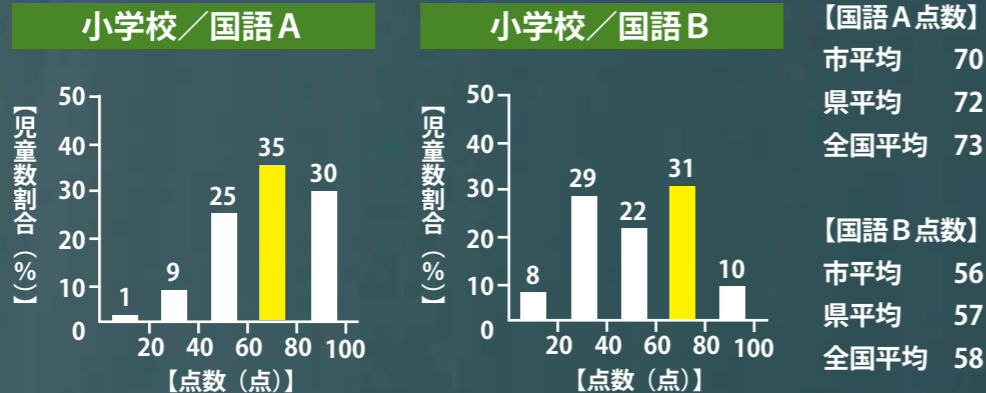
課題となる項目

① 難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦する。
② 家庭においても、自分で学習計画を立て勉強に取り組んでいる。
③ 自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組立などを工夫して発表している。

今後の重点的な取組

① 子どもたちが考える授業を展開し、一人一人が「分かる・できる」喜びや達成感を味わうことができる「学力向上モデル」に基づいた授業づくりを推進します。
② 個別指導や補充指導を充実させ、当該学年の基礎的・基本的な知識や技能の定着をめざします。
③ ICT機器を活用し、自分の立場や意図をはっきりさせながら、自分の考えを書いたり、発表したりするなど、子どもが主体的に取り組む学習の充実に努めます。
④ 学校と家庭での学習が連動するよう「垂直タイム」をより一層推進します。

調査結果 各教科 結果割合表



【算数A点数】	【算数B点数】	【国語A点数】	【国語B点数】	【数学A点数】	【数学B点数】
市平均 76	市平均 41	市平均 75	市平均 66	市平均 62	市平均 43
県平均 79	県平均 45	県平均 74	県平均 64	県平均 60	県平均 41
全国平均 78	全国平均 47	全国平均 76	全国平均 67	全国平均 62	全国平均 44